

インストールガイド

PowerChute™ Serial Shutdown for Business v1.3

TME10992B-018

発行日：2024年11月

Schneider
 Electric

Schneider Electric IT Corporation 免責事項

本マニュアルに記載される情報に関して、正式なものであること、誤記がないこと、または完全であることを保証しません。本マニュアルは、施設固有の詳細な運用開発プランに取って代わるものではありません。したがって、本マニュアルに記載される情報は、損傷、法律違反、不適切なインストール、システム障害、または本マニュアルを使用した結果生じるその他の問題に関して、一切の賠償責任を負いません。

本マニュアルに記載される情報は、現状のまま提供され、データセンターの設計および構造を評価することを唯一の目的として用意されています。本マニュアルは、本マニュアルが誠実に編集したもので、ただし、本マニュアルに記載される情報の完全性または正確性に関して、明示または默示を問わず、いかなる意見表明も保証もされません。

Schneider Electric IT Corporation 本社、または Schneider Electric IT Corporation の親会社、関連会社もしくは子会社、またはその担当役員、担当取締役もしくは担当従業員は、本マニュアルまたはその内容を使用したり、その使用に関連したり、あるいはそれを使用できなかつたりすることで生じる直接的、間接的、付随的、懲罰的、特別の、または偶発的損害（事業、契約、収益、データ、情報の喪失、または事業中止など）について、たとえ Schneider Electric がかかる損害の可能性を明示的に把握していた場合でも、一切の賠償責任を負いません。Schneider Electric IT Corporation は、予告なしにいつでも出版物またはそのフォーマットに関して内容を変更または更新する権利を留保します。

内容（ソフトウェア、音声、ビデオ、テキスト、および写真など）の著作権、知的財産権、およびその他すべての所有権は、本マニュアルまたはそのライセンサーに帰属します。内容の権利のうち、本文書で明示的に許諾していないすべての権利を留保します。いかなる権利も、本情報をアクセスする者にライセンス許諾せず、譲渡せず、ないしは一切の引き渡しを行うことはありません。

本マニュアルの全部または一部を再販売することは禁止されています。

目次

インストールの概要

オペレーティングシステムと WÚÙ デバイス サポートされている WÚÙ の種類	G
システム、WÚÙ、ケーブルの要件	G
インストールのシステム要件	H
WÚÙ 通信ケーブルの要件	H

Ú[, ^|Ô@ c ÁU^|æ ÁU@ c@[, } ÁOE^} のインストール曲

- Ú[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } インストールの前に.....
異なるバージョンおよびコンポーネントの互換性 ÁAAAAAAA
- Ú[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } のアップグレード ÁAAAAAAA
- ユーザー名とパスワード要件 ÁAAAAAAA
- ①ç î 互換性 ÁAAAAAAA
- Y å å[, • Áでのインストール
Ú[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } ÁŒ^} áを Y å å[, •
にインストールする ÁAAAAAAA
- Y å å[, • Á[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } ÁŒ^} áのサイレン
トインストール ÁAAAAAAA
- Y å å[, • Á上での Ú[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } ÁŒ^} áの起動と
停止 ÁAAAAAAA
- Ú[, ^!Ô@ç Áù@ç Á@ç[, } ÁŒ^} áを Á å å[, •
からアンインストールする ÁAAAAAAA
- Y å å[, • Áù@ç Á@ç[, } ÁŒ^} BDEFJDEGGÁù@ç!Ô[!^Á
Ú[, ^!Ô@ç のインストール タンインストール ÁAAAAAAA

Şač のインストール

ÜÜT パッケージの署名 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

RPM パッケージの検証 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

シンプルシグナリング F

サポートされる WÜÜ デバイスおよびアクセサリ ~~XXXXXXXXXXXX~~†

シンプルシグナリングケーブル ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

スマートシグナリングケーブル ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

サポートされる構成 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

シンプルシグナリングで Ü[, . . .]@ . . . @ . . .]@ . . .]{ . . . }

をインストールする ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

シャットダウン設定 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

Ü[, . . .]@ . . . @ . . .]@ . . .]{ . . . } のインターフェース へのアクセス GH

トラブルシューティング ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~† G

Ü[, . . .]@ . . . @ . . .]@ . . .]{ . . . } のインストール中に発生

するメッセージ ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

サイレントインストールのエラーコード ~~XXXXXXXXXXXXXX~~†

Šš „ ¢ のインストールに関する問題 ~~XXXXXXXXXXXXXX~~†

Y å å[, . . .] でアンインストール時に発生する可能性
のある問題 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

通信のヘルプ、WÜÜ の自動検出および手動検出の
トラブルシューティング ~~XXXXXXXXXXXXXX~~†

Y å å[, . . .] での WÜÜ 通信の確認 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~ . GJ

Y å å[, . . .] で WÜÜ ケーブル接続なしでのインストール ~~XXXXXXXXXXXXXX~~ . GJ
予期しないシャットダウンと通信の喪失 ~~XXXXXXXXXXXXXX~~ . GJ

スタンバイモードで Agent ト が一時的に使用できない ~~XXXXXXXXXXXXXX~~ . . . GJ

スタンバイは Å å å[, . . .] でのスケジュールされたシャット
ダウンを延期 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

オペレーティングシステムの日付と時刻を変更
する際の問題 ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

インストールまたはアップグレード後の WÜÜ の変更 ~~XXXXXXXXXXXXXX~~

スケジュールされたシャットダウンの後に WÜÜ の電源がオ
ンにならない ~~XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX~~†

インストールの概要

このインストールガイドは、PowerChute™ Serial Shutdown（PowerChute）の概要を紹介し、製品の説明、インストール手順、およびさまざまなトラブルシューティングの解決方法について説明します。

以下を参照してください。

- [PowerChute Serial Shutdown Agent](#)
- [オペレーティングシステムとUPSデバイス](#)
- [システム、UPS、ケーブルの要件](#)
- [PowerChute Serial Shutdown Agent のインストール](#)
- [トラブルシューティング](#)

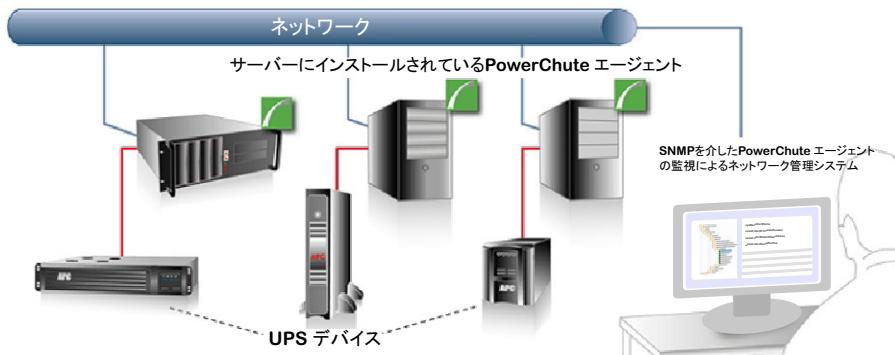


重要 :

PowerChute Serial Shutdown をインストールおよび設定した後は、本稼働環境で使用を開始する前に設定をテストすることを強くお勧めします。

PowerChute Serial Shutdown Agent

Smart-UPSとPowerChute Serial Shutdown エージェントはサーバーを保護します



エージェントは、UPSのステータス監視機能により、停電が長期間継続した場合にUPSに接続されたサーバーのシステムシャットダウンを実行します。詳細については、「[オペレーティングシステムとUPSデバイス](#)」を参照してください。

このエージェントは、[サポートされるUPS機器およびアクセサリー](#)に記載されているUPSデバイスに直接接続されている各コンピュータに対してインストールする必要があります。

ネットワーク管理システム(NMS)を使用して、SNMP経由または[EcoStruxure IT™](#)を介してPowerChute Serial Shutdown Agentを監視する事も可能です。

オペレーティングシステムと UPS デバイス

PowerChute Serial Shutdown Agentの設定は、オペレーティングシステムと UPS デバイスによって異なります。

- Windows オペレーティングシステムの場合は、[Windows でのインストール](#)を参照してください。
- Linux オペレーティングシステムの場合は、[Linux でのインストール](#)を参照してください。
- 自動検出が失敗した場合、UPS が接続されていない場合、または手動インストールを選択した場合は、手動インストールが行われます。[サポートされている UPS の種類と PowerChute Serial Shutdown Agent のインストール](#)を参照してください。
- UPS を **Interface Expander 2 カード (AP9624)**を使用して1台の UPS に複数のサーバーを接続している場合には、シンプルシグナリングを使用してカード /Share-UPS に接続されたデバイスを実行させている PowerChute Serial Shutdown Agentを設定する必要があります。詳細については、「[シンプルシグナリング](#)」を参照してください。

サポートされている UPS の種類

手動インストールでは、UPS モデルのリストから UPS を選択するよう求められます。

1. 表示されるリストから UPS のモデルを選択してください。UPS のモデルは、UPS の背面にある印刷されたラベルに記載されています。
2. UPS モデルのプレフィックス (SMT 、 SMX など) がドロップダウンリストにない場合は、以下の定義を参照して UPS モデルのタイプを検索してください：
 - **タイプ A**
Smart-UPS LCD (SMTモデル)、Smart-UPS X (SMXモデル)、Smart-UPS RT (SRT/SURTDモデル)、SecureUPS
 - **タイプ B**
 - Smart-UPS (SUAモデル)、Smart-UPS RT (SURTモデル)

UPS 製品形式の詳細に関しては、[APC ウェブサイト](#)のサポート技術情報で [FA53387](#) の項目を参照してください。

以下のセクションも参照してください：[異なるバージョンおよびコンポーネントの互換性](#)。

システム、UPS 、ケーブルの要件

コンピュータのシステム要件については、以下のセクションを参照してください。

- [インストールのシステム要件](#)
- [UPS 通信ケーブルの要件](#)



コンセントグループを持つUPSデバイスの場合、デフォルトのコンセントグループは PowerChuteによって自動的に選択されます。

UPS が切替コンセントグループを持つ場合、デフォルトのコンセントグループが最初の切替コンセントグループになります。それ以外のメインコンセントグループを持つモデルの場合、デフォルトコンセントグループはメインコンセントグループになります。

コンセントグループは、PowerChute Serial Shutdown Agentのコンセント設定画面およびインストール後の初期設定ウィザードで変更できます。

インストールのシステム要件

PowerChute Serial Shutdown と互換性のあるオペレーティングシステム、JRE、サービスパック、プロセッサーに関する最新情報については、ある [PowerChute Serial Shutdown オペレーティングシステムとプロセッサーの互換性チャート](#) の最新版を参照してください。

PowerChute Serial Shutdown をインストールするコンピュータは、64 ビットのオペレーティングシステムでなければならず、次のものが必要です。

- アクティブな TCP/IP ネットワーク接続
- 1GB 以上の RAM

ポート要件

PowerChute Serial Shutdown で使用するポートの詳細な情報については、[APC ウェブサイト](#) のサポート技術情報で [FA53117](#) の項目を参照してください。

ブラウザ要件

サポートされているブラウザ：

- Mozilla Firefox バージョン 114
- Google Chrome バージョン 114
- Microsoft Edge

シージェント Web ユーザーインターフェイスを使用するには：

- ブラウザでの JavaScript™ を有効にします。
- ブラウザの設定で Cookie を有効にします。
- HTTPS を使用して Agent Web インターフェースにアクセスするには、ブラウザの設定で TLS v1.2 または 1.3 以上を有効にします。（他のバージョンは現在サポートされていません）。

シージェントを表示すると、ブラウザでセキュリティ認証の信頼性がないことを示すエラーメッセージが表示されます。これを管理するには [PowerChute Serial Shutdown Agent インターフェースへのアクセス](#) を参照してください。

UPS 通信ケーブルの要件

UPS に同梱されている通信ケーブルを使用して、UPS をサーバーに接続します。

- PowerChute Serial Shutdown Agent は、UPS と PowerChute Serial Shutdown エージェントを実行しているサーバーの通信ポートに接続する通信ケーブルを介して UPS と通信します。
- PowerChute は、UPS 本体にあるインターフェースに対し、USB またはシリアルのいずれか一種類の形式の接続のみでサーバーとの通信が可能です。**注：** PowerChute は、シリアル-USB、USB-シリアルの変換アダプターでの使用についてはテストされていません。
- **重要：** UPS 1 台に複数の通信ケーブル（シリアルケーブルや USB ケーブルなど）を使用してサーバーを接続すると、予期しないシャットダウン動作が発生する可能性があります。
- UPS に同梱されている通信ケーブルの詳細については、[APC ウェブサイト](#) にある UPS の取扱説明書を参照してください。その他の詳細については、[APC ウェブサイト](#) のサポート技術情報で [FA53413](#) の項目を参照してください。

重要 :サポートされていない UPS または不適切な UPS 通信ケーブルを使用して UPS とサーバーを接続すると、PowerChute Serial Shutdown Agent が UPS と通信できないため、PowerChute Serial Shutdown Agent のインストールを完了できないことがあります。



PowerChute のインストールでは、シンプルシグナリングケーブルで接続されたデバイスを検出できません。Interface Expander 2 カードのシリアルポートに接続したコンピュータでは、インストール時に手動インストールを選択してください。

詳細については、[通信のヘルプ](#)、[UPS の自動検出および手動検出のトラブルシューティング](#)を参照してください。

注意 : UPS Interface Expander 2 (AP9624)を使用する場合を除き、UPS1 台に対して保護できるコンピュータは PowerChute Serial Shutdown Agent を実行している 1 台のみです。

サポートされる UPS 機器およびアクセサリー

PowerChute Serial Shutdown Agent は、シリアルまたは USB 接続を使用して通信するほとんどの Smart-UPS™ デバイス (3kva 以下) を含めて、ソフトウェアとともに出荷されたあらゆる UPS を管理する事が可能です。使用されるケーブルと付属品によっては、スマートシグナリングと **シンプルシグナリング** の両方がサポートされています。以下のセクションも参照してください：[サポートされている UPS の種類](#)。

注意 : コンセントグループを持つ UPS デバイスについては、PowerChute Serial Shutdown Agent ヘルプの **シャットダウン** の章の、**シャットダウン時にオフにする個々のコンセントグループの選択** を参照してください。シャットダウン時にコンセントグループがどのように機能するか詳しく説明しています。

PowerChute Serial Shutdown Agent のインストール

以下のセクションを参照してください：

- **PowerChute Serial Shutdown インストールの前に**
- **Windows でのインストール**
 - **Windows 上での PowerChute Serial Shutdown Agent の起動と停止**
- **Linux でのインストール**
 - **Linux での PowerChute Serial Shutdown Agent の起動と停止**
- **シンプルシグナリング**

PowerChute Serial Shutdown インストールの前に



インストールを開始する前に、オペレーティングシステムの日付と時刻が正確であることを確認してください。

インストールを実行する前に、インストール手順について次の項目に注意してください。

- **異なるバージョンおよびコンポーネントの互換性**
- **PowerChute Serial Shutdown のアップグレード**
- **IPv6 互換性**
- **ユーザー名と パスワード要件**

異なるバージョンおよびコンポーネントの互換性

PowerChute Serial Shutdown v1.3 は 64 ビットのみのアプリケーションであり、32 ビット OS にはインストールできません。

PowerChute Serial Shutdown のアップグレード

PowerChute Serial Shutdown v1.3 は、既存の PowerChute バージョンからのアップグレードをサポートします。アップグレード プロセスでは、既存の PowerChute バージョンはアンインストールされませんが、構成設定を保持したまま、古いバージョンの上に新しいバージョンがインストールされます。

アップグレード ノート

- 詳細については、「[オペレーティングシステムと UPS デバイス](#)」を参照してください。
- アップグレード後、ブラウザのキャッシュをクリアしてから Agent Web インターフェイスにアクセスし、最新の変更を確認してください。
- **初期セットアップウィザード**は、構成設定が引き継がれるため、アップグレード後には表示されません。

アップグレードが可能かどうかについては、APC ワールドワイド カスタマーサポートにお問い合わせください（ <https://www.apc.com/jp/ja/support/> ）。



アップグレードが完了したら、設定が確実に引き継がれているか確認するため、設定を確認してください。

ユーザー名とパスワード要件

- ユーザー名の長さは 6—128 文字でなければなりません。
- パスワードは以下が必要です：
 - 最小 8 文字から最大 128 文字の長さ。
 - 1 つの大文字と小文字。
 - 1 つの数字または特殊文字 (#?!@\$%^*-)。
- ユーザー名をパスワードの一部にすることはできません。
- ユーザー名とパスワードに使えるのは、US-ASCII 文字のみです。空白を含めることはサポートされません。

インストール後にユーザー名とパスワードをリセットすることは可能です。PowerChute Serial Shutdown Agent Web インターフェイスおよび [APC ウェブサイト](#) にある、[PowerChute Serial Shutdown Agent ユーザーガイド](#) のユーザー名とパスワードのリセットの項目を参照してください。

IPv6 互換性

IPv6 アドレスは、次のいずれかの形式にする必要があります。

IPv6 形式	説明
fe80:0000:0000:0000:0204:61ff:fe9d:f156	IPv6 の完全な形式
fe80:0:0:0:204:61ff:fe9d:f156	先頭のゼロを省略
fe80::204:61ff:fe9d:f156	IPv6 アドレスの複数のゼロを :: に省略した形式
fe80:0000:0000:0000:0204:61ff:254.157.241.86	末尾を IPv4 ドット区切り形式で表現
fe80:0:0:0:0204:61ff:254.157.241.86	先頭のゼロの省略、末尾を IPv4 のドット区切り形式で表現
fe80::204:61ff:254.157.241.86	複数のゼロの省略、末尾を IPv4 のドット区切り形式で表現
::1	Localhost
fe80::	リンクローカルプレフィックス
2001::	グローバルユニキャストプレフィックス

Windows でのインストール

PowerChute Serial Shutdown Microsoft® Windows™ にインストールには、次の手順で行ってください。

以下のセクションも参照してください :

- [Windows PowerChute Serial Shutdown Agent のサイレントインストール](#)
- [Windows Server 2016/2019/2022 Server Core : PowerChute のインストール / アンインストール](#)

注意 :

PowerChute Serial Shutdown v1.3 は、PowerChute Business Edition v10.x からのアップグレードをサポートしています。それ以前のPowerChute Business Editionに関しては、PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、以前のバージョンを手動でアンインストールする必要があります。

PowerChute Serial Shutdown Agent を Windows にインストールする

PowerChute Serial Shutdown Agentを UPS に接続された各コンピューターにインストールします。 詳細については、「[UPS 通信ケーブルの要件](#)」を参照してください。

Agentは WindowsおよびLinux オペレーティング システムにインストールできます。「[Linuxでのインストール](#)」も参照してください。

インストール実行可能ファイルpcsssetup.exe をダブルクリックし、インストールを開始します。

次の手順に従います。

1. Nullsoft Scriptable Install System (NSIS) Setup Launcher (pcsssetup.exe) を実行します。 ウィザードに従ってインストールを進めてください。 言語セレクターのポップアップから必要な言語を選択します。「OK」をクリックして続行します。
2. 使用許諾契約に同意します。
3. PowerChute Serial Shutdown Agent ファイルの宛先の場所を選択します。 アップグレードのインストール中に場所を尋ねられることはできません。 デフォルトでは、以前の場所が使用されます。
4. 「UPS の通信ポートを自動検出しますか？」に対しては、はいをクリックし、接続されているUPS が自動的に検索されるようにする事をお勧めします。 いいえを選択する場合は、次の [UPS の手動検出](#)を参照してください。

注意 :

- ! – UPS でシンプルシグナリングを使用する場合は、いいえをクリックして手動で UPS の検索を行います。 詳細については、「[シンプルシグナリング](#)」を参照してください。
- アップグレードインストールの場合は、UPS の選択は求められません。 初回インストール時に特定された UPS が使用されます。
- インストールプログラムがコンピュータに接続された UPS を検出できない場合は、手動で UPS モデルを選択するように求められます。 次の [UPS の手動検出](#)を参照してください。

5. PowerChute は、接続されている UPS を自動的に検出させたいかどうかを尋ねます。PowerChute が UPS を検出できない場合は、[自動検出の実行]をクリックして UPS の検出を再試行するか、[次へ]をクリックして UPS を検出せずにインストールを続行します。
6. PowerChute Serial Shutdown Agent のインストール先を選択します。アップグレードインストールでは、インストールするフォルダー等を尋ねられることがあります。前のインストール先がデフォルトで使用されます。

UPS の手動検出

- a. 手動で UPS を検出する場合は、リストから UPS モデルを選択するよう求められます。詳細については、「[サポートされている UPS の種類](#)」を参照してください。
 - b. UPS が接続されている通信ポートを選択するよう求められます。わからない場合は、UPS とサーバーを接続するケーブルを確認してください。
以下を参照してください。[通信のヘルプ、UPS の自動検出および手動検出のトラブルシューティング](#)。
7. ユーザ名とパスワードを入力します。詳細については、「[ユーザー名とパスワード要件](#)」を参照してください。
 8. PowerChute がインストールされます。インストールが完了したら、[次へ]をクリックします。
 9. PowerChute がインストールされます。インストールが完了したら、[次へ]をクリックします。
 10. [完了]をクリックしてインストーラーを閉じます。PowerChute Serial Shutdown のユーザーインターフェイス (UI) を web ブラウザーで自動的に開くオプションがあります。

ネットワークに追加された新しい UPS ごとに、新しい UPS に接続されたコンピュータで手順 1 ~ 7 を繰り返します。

Windows PowerChute Serial Shutdown Agent のサイレントインストール

一般的な非サイレントインストールの場合、通常、インストール中にプロンプトに答える必要があります。サイレントインストールでは、設定が既に応答ファイルに定義されているため、入力を求めるプロンプトは表示されません。PowerChute の複数のコピーに同じ設定を適用する場合、設定ファイルを使用できます。詳細については、[PowerChute Serial Shutdown ユーザーガイド](#) を参照してください。



アップグレードを行う場合は、[PowerChute Serial Shutdown のアップグレード](#) の重要情報 を参照してください。



注：ダウンロードを使用してインストールする場合は、pcss.zip を解凍し、pcsssetup.exe ファイルを展開してから続行してください。

1. サイレントインストールファイルを編集して必要なパラメータを設定します。[サイレントインストールファイルの編集](#) を参照してください。
2. 管理者コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
pcsssetup.exe /S /F silentInstall.ini
```

サイレントインストールに失敗した場合は、PCSSInstall.log ファイルにエラーコードが書き込まれます。[サイレントインストールのエラーコード](#) を参照してください。



silentInstall.ini ファイルには PowerChute Serial Shutdown の資格情報がプレーンテキストで含まれているため、インストールが成功した後は silentInstall.ini ファイルを削除することをお勧めします。インストーラーは、インストール中に INI ファイルを変更しません。

注：

- PowerChute Business Edition v10.x からのサイレントアップグレードはサポートされていません。
- 必須の Visual C++ Redistributable のサイレントインストールはサポートされていません。

サイレントアンインストール

サイレントモードでアンインストールするには、Administrator Command Prompt で次のコマンドを入力します。

```
"C:\Program Files\APC\PowerChute Serial Shutdown\Uninstall.exe" /S
```

サイレントインストールファイルの編集

Windows OSでは、サイレントインストールをガイドするファイルは silentInstall.ini と名付けられています。

このファイルはプレーンテキストファイルであるため、標準的なテキストエディタで編集できます。各フィールドまたは行には、インストーラがインストールを実行するために必要な値が含まれています。自動インストールファイルのフィールドを下表に示します。

フィールド名	説明	デフォルト値
Upgrade yes no	<p>PowerChute Serial Shutdownのサイレントアップグレードを有効または無効にします。有効にすると、インストーラは、既存バージョンから新バージョンへのアップグレードがサポートされているかどうかをチェックします。アップグレードのインストール中、既存のPowerChuteの設定とデータは保持されます。</p> <p>既存のインストールが見つからない場合、またはインストール済みバージョンから新バージョンへのアップグレードがサポートされていない場合、アップグレードは失敗します。同じバージョンへのアップグレード(修復インストール)は可能です。</p> <p>注: サイレントアップグレード中は、「Upgrade」と「AcceptEULA」フィールドのみが処理されます。その他のフィールドとその値はすべて無視されます。</p>	
ApplicationDirectory	<p>PowerChute をインストールするディレクトリ。これは、ドライブレターを含む絶対パスである必要があります。</p> <p>注: パスに PowerChute Serial Shutdown が含まれていない場合は、\APC\PowerChute Serial Shutdown がパスに追加されます。</p>	C:\Program Files\APC\PowerChute Serial Shutdown
AcceptEULA yes no	[yes]は、ソフトウェア使用許諾契約に同意したことを示します。ここで[yes]を指定しないと、インストールは続行されません。	Yes
AutoDetect yes no	自動検出を有効または無効にします。自動検出が有効になっている場合、インストーラーはサポートされているUPSのすべての通信ポートをスキャンします。サポートされているUPSが検出されない場合、インストーラーは中断されます。	Yes

フィールド名	説明	デフォルト値
UPSModel	<p>このインストールに使用する UPS モデル。これは、UPS の背面にある印刷されたラベルに記載されています。以下のリストから UPS に一致する数値を入力します。</p> <p>お使いの UPS が下記の UPS モデルにない場合は、以下の定義に応じて [その他のタイプ A] または [その他のタイプ B] を選択してください。</p> <p>タイプ A:</p> <ul style="list-style-type: none"> Smart-UPS LCD (SMT モデル)、Smart-UPS X (SMX モデル)、Smart-UPS RT (SRT/SURTD モデル)、SecureUPS <p>・タイプ B:</p> <ul style="list-style-type: none"> Smart-UPS (SUA モデル)、Smart-UPS RT (SURT モデル) <p>注: AutoDetect が yes に指定されている場合は、UPSModel 値は無視されます。</p> <p>UPS モデル:</p> <p>0 = SMT、1 = SMC、2 = SRT、3 = SRTL、 4 = SU、5 = SUA、6 = SURT、7 = SY、 8 = SC、9 = SURTA、10 = SURTD、11 = SUA、13 = SMX、15 = その他のタイプ A、16 = その他のタイプ B</p>	0

フィールド名	説明	デフォルト値
ShareUPSMODE	<p>UPS を Interface Expander 2 カード (AP9624) と併用し、1 つの UPS で複数のサーバーをサポートする場合は、ShareUPSMODE の値を 0 より大きい値に設定する必要があります。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> AutoDetect が yes に指定されている場合は、ShareUPSMODE 値は無視されます。Interface Expander 2 および Share-UPS の自動検出はサポートされていません。 <p>Share-UPS、Interface Expander 2、または Simple Signalling モードに接続していますか？</p> <p>0 = いいえ - UPS ポートに接続</p> <p>1 = はい - Interface Expander 2 ポート</p> <p>2 = はい - Share-UPS アドバンストポート</p> <p>3 = はい - Share-UPS ベーシックポート</p>	0
UPSPort	<p>UPS が接続されている通信ポート。これは、USB ポートまたはシリアル (COM) ポートのいずれかです。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> AutoDetect が yes に指定されている場合、UPSMODE1 値は無視されます。 USB を指定する場合は、インストール時に UPS が USB ポートに接続されていることを確認してください。UPS が接続されていない場合は、必須のドライバーをインストールできず、インストールは失敗します。 UPSMODE1 値が 14 の場合は、USB ポート値 (0) のみが許可されます。 ShareUPSMODE 値が 0 より大きい場合は、COM ポート値のみが許可されます。 <p>ポート値</p> <p>0 = USB</p> <p>1 = COM1</p> <p>2 = COM2</p> <p><n>=COM<n></p>	0

フィールド名	説明	デフォルト値
Username	<p>PowerChute Serial Shutdown に使用するユーザー名。</p> <p>ユーザー名の要件:</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー名の長さは6~128文字でなければなりません。 ユーザー名をパスワードの一部にすることはできません。 ユーザー名に含まれられるのはUS-ASCII文字のみです。空白を含めることはサポートされていません。 	
Password	<p>PowerChute Serial Shutdown に使用するパスワード。</p> <p>パスワードの要件:</p> <ul style="list-style-type: none"> パスワードには以下が必要です: <ul style="list-style-type: none"> -最小8文字、最大128文字の長さ。 -1つの大文字と小文字。 -1つの数字または特殊文字 (#?!@\$%^*-)。 パスワードに含めることができるのは US-ASCII 文字のみです。空白を含めることはサポートされていません。 	
AddToFirewall yes no	<p>Windows Firewall に例外を追加します。</p> <p>値が yes に指定され、Windows Firewall がシステム上で有効になっている場合、インストーラーは Windows Firewall に PowerChute Serial Shutdown Agent のための例外を追加します。これにより、PowerChute の遠隔監視と管理が可能になります。</p>	Yes

Windows 上での PowerChute Serial Shutdown Agent の起動と停止

Windows では、インストールが完了すると PowerChute Serial Shutdown Agent が自動的に開始します。OS が起動するたびに、PowerChute Serial Shutdown Agent は自動的に実行されます。

PowerChute Serial Shutdown Agent を意図的に停止させた後で手動で起動するには、Windows コントロールパネルの管理ツールの中の Windows のサービスを表示させます。 **PowerChute Serial Shutdown** を探します。

PowerChute Serial Shutdown Agent もサービスで停止させることができます。

PowerChute Serial Shutdown Agent を Windows からアンインストールする

1. Windows のコントロールパネルで プログラムと機能を選択します。
2. プログラムのアンインストールまたは変更の一覧から、**PowerChute Serial Shutdown Agent** を選びます。
3. アンインストールをクリックします。
4. アプリケーションを完全に削除するか問われたら [OK] を選択します。

Windows Server 2016/2019/2022 Server Core : PowerChute のインストール / アンインストール

PowerChute Serial Shutdown Agent と Windows Server Core

PowerChute Serial Shutdown Agent は、 Windows Server 2012 Server Core 、 2016 Server Core 、 2019 Server Core または 2022 Server Core (64 ビットオペレーティングシステム) にインストールが可能です。

インストール

Windows の Server Core 以外の場合、 Club APC サイトから pcsssetup.exe をダウンロードします。 Server Core マシン (2012 、 2016 、 2019 または 2022) の一時ディレクトリに、ファイルをコピーします。

コマンドプロンプトウィンドウで一時ディレクトリに移動し、 pcsssetup.exe を入力してから Enter キーを押してください。

例えば、

```
cd \temp  
pcsssetup.exe
```

アンインストール

コマンドプロンプトを開き、 "C:\Program Files\APC\PowerChute Serial Shutdown" Uninstall.exe を入力します。

例えば

```
cd "\Program Files\APC\PowerChute Serial Shutdown"  
Uninstall.exe です。
```

Linux でのインストール

前提条件については、[PowerChute Serial Shutdown インストールの前に、インストールのシステム要件](#)、および[オペレーティングシステムと UPS デバイスを参照してください](#)。



お使いの Linux オペレーティングシステムがデフォルトで[サポートされているブラウザ](#)を使用していない場合は、PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、ブラウザを必要なバージョンのブラウザにアップグレードしてください。

PowerChute Serial Shutdown と様々な Linux ディストリビューションとの互換性に関する最新情報については、[最新版の PowerChute Serial Shutdown オペレーティングシステムとプロセッサの互換性チャート](#)を参照してください。



PowerChute Serial Shutdown をインストールするには、Linux コンピュータの root 権限が必要です。

PowerChute Serial Shutdown Agent を Linux にインストールする

PowerChute Serial Shutdown Agent を UPS に接続された各コンピューターにインストールします。詳細については、「[UPS 通信ケーブルの要件](#)」を参照してください。



お使いのシステムが、IPv6 をサポートしていない場合、インストール中に表示される UPS ハードウェアの説明を読む必要があります。

1. [APC ウェブサイト](#)から Linux 用 PowerChute Serial Shutdown のインストーラをダウンロードします。
2. お使いのシステムに適したインストールパッケージを選択してください。

pcssagent-1.x.x-401-JP.x86_64.tar.gz



重要：中国語のシステムに PowerChute をインストールするには、システム変数 LANG と LC_ALL を設定する必要があります。

- a. 次のコマンド :vi /etc/profile を使用してプロファイルファイルを開きます。
- b. プロファイルファイルの最後に以下を追加します。

```
#Japanese
export LC_ALL=ja_JP.utf8
export LANG=ja_JP.utf8
export LANGUAGE=ja_JP.utf8
#English
export LC_ALL=en_US.utf8
export LANG=en_US.utf8
export LANGUAGE=en_US.utf8
```

- c. “export LANG=C.utf8” を含むプロファイルファイル内の行を削除します。
- d. ファイルを保存してシステムを再起動します。
- e. ロケールコマンドを実行することにより、システムのロケールが正常に変更されたことを確認します。

3. tar コマンドを使用して、ファイルの内容を抽出して解凍します。

```
pcssagent-1.1.0-x01-JP.x86_64.tar.gz
```

4. ルートユーザとしてログインしていない場合は、sudo を使用してインストーラを実行するか、または su コマンドを使用してルートユーザのコンテキストに切り替え、インストーラを実行する必要があります。

```
./install_pcssagent_linux.sh
```



ウェブからのダウンロード後に、実行権限の付与が必要になります。

```
chmod +x install_pbeagent_linux.sh
```

5. 使用許諾契約に同意します。

6. Config.sh スクリプトが自動的に実行されます。

- ・ユーザ名とパスワードを入力します。

- ・UPS モデルを選択します。

- ・PowerChute を実行しているコンピュータを、UPS に接続するため使用するケーブルの種類とポートを選択します。



Red Hat Enterprise Linux (RHEL) バージョン 6.3 以前では USB はサポートされていません
Linux マシン上のタイプ B UPS デバイスへの通信。

要求されたすべての設定パラメータが提供されると、PowerChute Serial Shutdown Agent サービスが開始されます。

Linux での通信に関する問題解決の詳細に関しては、[APC ウェブサイト](#) のサポート技術情報で [FAQ000260072](#) の項目を参照してください。

Linux での PowerChute Serial Shutdown Agent の起動と停止

PowerChute Serial Shutdown Agent は、オペレーティングシステムの起動時に自動的に実行されます。PowerChute Serial Shutdown Agent を手動で起動するには、コマンドプロンプトで次のいずれかのコマンドを入力します。

```
/etc/init.d/PBEAgent start  
service pbeagent start  
systemctl start PBEAgent
```

PowerChute Serial Shutdown Agent を手動で停止するには、次のように入力します。

```
/etc/init.d/PBEAgent stop  
service pbeagent stop  
systemctl stop PBEAgent
```

ファイアウォールの背後にいる PowerChute Serial Shutdown Agent へのアクセス

エージェント Web ユーザーインターフェイスにリモートでアクセスするには、次のポートを使用します。

- ・ HTTPS: 6547

Linux での PowerChute Serial Shutdown Agent のアンインストール

エージェントをアンインストールするには、rpm を消去するオプション (-e) を使用します。

```
rpm -e pcssagent
```

Linux 用のサンプルスクリプトの使用

デフォルトの default.sh ファイルは、<PowerChute フォルダ >/Agent/cmdfiles/ のインストレーションに含まれています。

このファイルには、Linux 上でコマンドファイルを実行するための基本情報があります。

無効化されたハードウェア アブストラクションレイヤ (HAL)

HAL ポリシーファイルは、hal-addon-hid-ups モジュールがPowerChute Serial Shutdown Agent の USB over UPSの制御と競合する可能性があるため、これを無効化するために Linux システムに自動的にインストールされます。

このポリシーファイルは、エージェントのアンインストール時に自動的に削除されます。

RPM パッケージの署名

PowerChute Serial Shutdown の RPM パッケージは、GNU Privacy Guard (GPG) によって署名されています。この RPM パッケージの検証に使用できる公開鍵の詳細を以下に示します。

公開鍵のダウンロード

1. [APC のウェブサイト](#) から公開鍵をダウンロードしてください。。
2. 次のコマンドを使用して、オペレーティングシステムに公開鍵をインポートします。

```
gpg --import/path/to/SE_GPG.key
```

3. ダウンロードした公開鍵からフィンガープリントを取得するには、次のいずれかのコマンドを実行します。

```
gpg --quiet --with-fingerprint SE_GPG.key
```

```
gpg --show-keys SE_GPG.key
```

```
gpg SE_GPG.key
```

注：正しいコマンドは、お使いの OS や OS のバージョンによって異なります。

このコマンドの出力：

```
pub rsa2048 2020-04-16 [SC]
```

```
0762DEF64373A1BBEC65EE65258A486C7AD50E69
```

```
uid Schneider Electric GPG Code Signing
```

ここで 0762DEF64373A1BBEC65EE65258A486C7AD50E69 はフィンガープリントと一致する。

RPM パッケージの検証

Linux Web ダウンロードには、RPM ファイル <filename>.rpm と署名ファイル <filename>.rpm.sig の両方が含まれています。

1. RPM パッケージを確認するには次のコマンドを実行します。

```
gpg -verify<filename>.rpm.sig <filename>.rpm
```

例えば: `gpg --verify pcssagent-1.1.0-301-EN.x86_64.rpm.sig pcssagent-1.1.0-301-EN.x86_64.rpm`

このコマンドの出力例は以下の通り:

```
gpg: Signature made Mon 15 May 2023 02:51:46 PM CEST
gpg:                               using RSA key 258A486C7AD50E69
gpg: Good signature from "Schneider Electric GPG Code Signing"
[unknown]
gpg: WARNING: This key is not certified with a trusted signature!
gpg:                               There is no indication that the signature belongs to the
owner.
Primary key fingerprint: 0762 DEF6 4373 A1BB EC65 EE65 258A 486C 7AD5
0E69
```

出力される警告は無視して差し支えありません。この警告が表示されるのは、GPG秘密鍵がオペレーティングシステムにインポートされていないためです。ダウンロードした公開鍵に一致するRPM署名ファイル(良好な署名)は、十分な信頼になります。

2. このコマンドの出力が、ダウンロードした公開鍵のフィンガープリントと一致することを確認します。

シンプルシグナリング

サポートされる UPS デバイスおよびアクセサリ

UPS Interface Expander 2 (AP9624) カードは、SmartSlot™ アクセサリスロットを備えた UPS に装着でき、追加用の 2 つのシリアルインターフェースポートを有しています。PowerChute Serial Shutdown では Interface Expander 2 を使用することで、UPS 本体の 1 つのポートとこの 2 つの追加したポートのシンプルシグナルにより、停電時に最大 3 つの PowerChute Serial Shutdown エージェントに対して適切なシステムシャットダウンを提供できます。

このガイドでは、Interface Expander 2 カードのみを使用したシンプルシグナリングについて詳しく説明します。UPS Interface Expander 1 (AP9607) や APC Share-UPS (AP9207) などの旧世代のアクセサリも、[タイプ B UPS](#) と PowerChute Serial Shutdown を使用して、複数のサーバに対して正常なシステムシャットダウンを提供可能です。Share-UPS または Interface Expander 1 の動作の詳細な情報については、[APC ウェブサイト](#) にある関連のユーザーガイドおよびナレッジベースの記事 [FAQ000260074](#) を参照してください。

注：

- 型番にSRCを含む[タイプ B](#)のUPSデバイスの中には、シンプルシグナリングをサポートしていないものがあります。例：SRC1KI、SRC2KI、SRC1KI-IN およびSRC1KUXIを含む。
- 型番にSRTLを含むUPSデバイスは、Interface Expander カードでのシンプルシグナリングをサポートしていません。
- 型番にSRVを含むUPSデバイスは、シンプルシグナリングをサポートしません。

シンプルシグナリングケーブル

形式：	パーツ番号
DB9-DB9 接続	940-0020
タイプ A UPS	940-0128D
Interface Expander カード	940-0020

スマートシグナリングケーブル

形式：	パーツ番号
DB9-DB9 接続	940-0024
RJ45-DB9 接続	940-0625A または 940-1525A
USB 接続：	
タイプ A UPS	940-0117B
タイプ B UPS	940-0273A

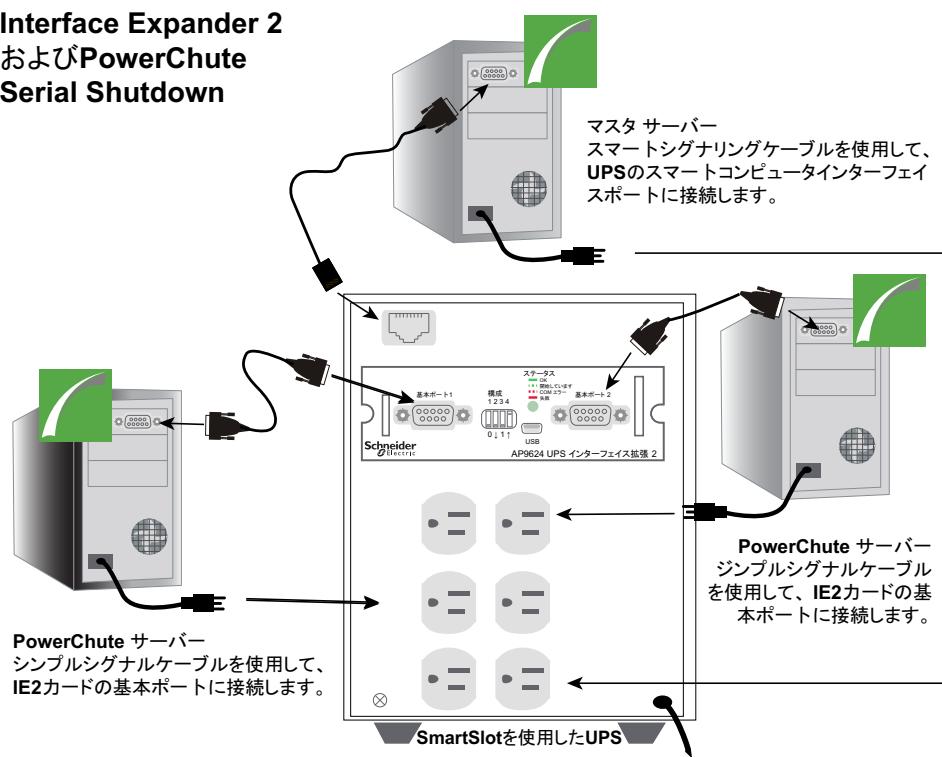


注：使用するスマートシグナリングケーブルは、UPS により異なります。UPS のボックスに同梱されているケーブルを使用します。PowerChute で使用している通信ケーブルの詳細については、ナレッジベースの記事 [FA53413](#) を参照してください。

サポートされる構成

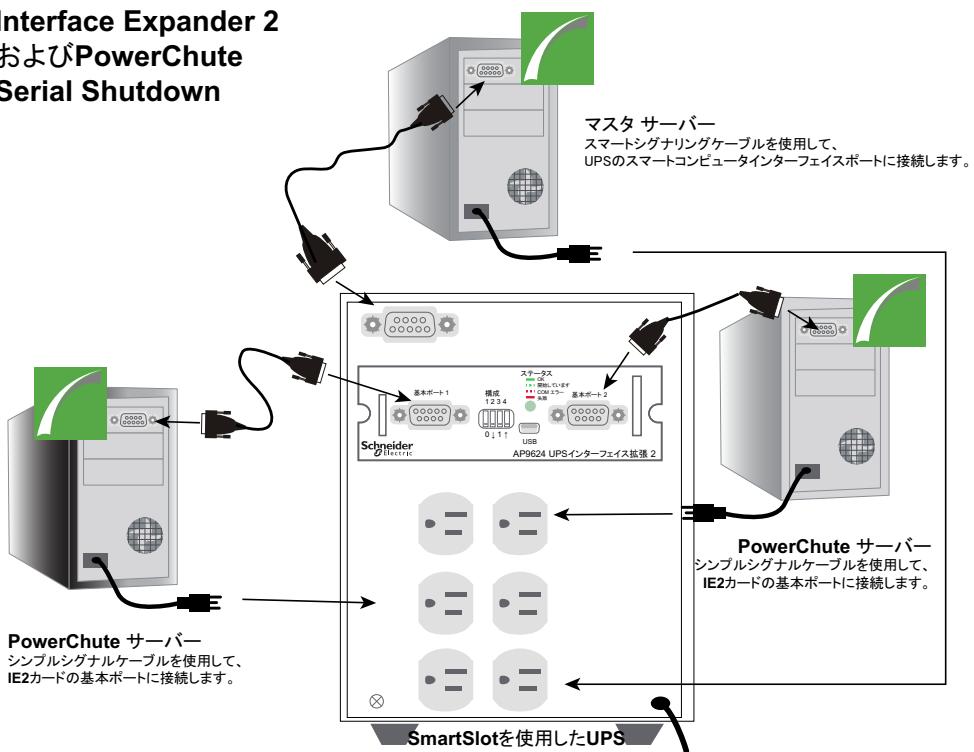
タイプ A UPS デバイス :

Interface Expander 2
およびPowerChute
Serial Shutdown



タイプ B UPS デバイス :

Interface Expander 2
およびPowerChute
Serial Shutdown



Interface Expander 2 (IE2) カードで PowerChute シンプルシグナリングを使用するには、[APC ウェブサイト](#)にある[ユーザーガイドのインストール](#)と設定の手順に従って、IE2 カードを UPS にインストールします。

- UPS の電源ケーブルを直接コンセントに接続してください。
 - 各サーバの電源ケーブルを UPS の背面にあるコンセントに接続します。
 - お使いの UPS モデル (上記の[シンプルシグナリングケーブル](#)参照) に付属の適切なケーブルを使用して、サーバー 1 台を直接 UPS のスマートコンピューター インターフェイスポートへ接続してください。このポートに接続されているコンピューターが、マスターサーバーとして定義されます。
- 注意** : 型番プリフィックスが SURTD または SRC の UPS モデルは、USB ポートがありません。この場合、シンプルシグナリング ケーブルを使用して、サーバを UPS のスマートコンピュータインターフェースポートに接続する必要があります。
- カードに付属のシンプルシグナリング ケーブルを使用して、残りの 2 台のスレーブサーバを、IE2 カードに接続します。



注意 : アクティブなシンプルシグナリング構成で通信ケーブルを切断すると、PowerChute は切断されたケーブルを検出せず、予期しないシャットダウン動作が発生します。シンプルなシグナリング中に通信ケーブルを切断することはサポートされていません。

IE2 カードをシンプルシグナリングで使用する際の有効な設定に関しては、[APC ウェブサイト](#)のサポート技術情報で [FAQ000260073](#) の項目を参照してください。

シンプルシグナリングで PowerChute Serial Shutdown をインストールする

UPS に接続されている各サーバーには、PowerChute Serial Shutdown Agent がインストールされている必要があります。始める前に、[オペレーティングシステムと UPS デバイスとシステム、UPS、ケーブルの要件](#)の詳細に関して[インストールの概要](#)を参照してください。

[Windows でのインストール](#)または[Linuxでのインストール](#)のいずれかの最初の手順にしたがって、接続されている各サーバーにPowerChuteをインストールしてください。

Windows でのインストール中、UPS への接続形式を選択するよう求められます。

- UPS ポートへ接続する** : スマートシグナルケーブルで、UPS のスマート通信ポートへ直接接続されているマスターサーバーに PowerChute をインストールする場合は、こちらを選択して下さい。
 - インターフェイス拡張ポート** : シンプルシグナリングケーブルで、IE2 の基本ポートへ接続されているスレーブサーバーへインストールする場合は、こちらを選択して下さい。
 - Share-UPS アドバンストポート** : このオプションは、スマートシグナリングケーブルで、Share-UPS のアドバンストポートへ接続されているマスターサーバーの場合に使用できます。
 - Share-UPS 基本ポート** : このオプションは、シンプルシグナリングケーブルで、Share-UPS の任意の基本ポートに接続されているスレーブサーバーの場合に使用できます。
- Share-UPS または Interface Expander 1 の動作の詳細な情報に関しては、[APC ウェブサイト](#)にある関連のユーザーガイド、および同じくサポート技術情報で [FAQ000260074](#) の項目を参照してください。

UPS への接続を選択し、オペレーティングシステムのインストールを完了します。

シャットダウン設定

シンプルシグナリング構成では、複数のサーバが1台のUPSでサポートされ、停電が発生した場合にはすべてのサーバが正常にシャットダウンされます。接続されているすべてのサーバは同時にシャットダウンされます。Interface Expander 2 カードを使用してシャットダウンを設定するには、PowerChute Serial Shutdown を使用する方法と、IE2 カードの物理的な DIP スイッチを使用する方法があります。



注：IE2 カードがタイマーモードのときは、PowerChute UI でシャットダウン設定を編集しないでください。PowerChute は、デフォルト モード（「UPS がバッテリ低下イベントを通知したとき」）に依存して、このモードで接続されているサーバーをシャットダウンするからで

す。PowerChute のシャットダウン設定は、IE2 カードがコンファームモードになっている場合にのみ変更してください。IE2 の動作モードの詳細については、[APC ウェブサイト](#) のナレッジベース記事 [FAQ000260074](#) を参照してください。

PowerChute Serial Shutdown によるシャットダウン設定

この構成では、PowerChute Serial Shutdown でシャットダウン設定を指定し、IE2 カードをコンファームモードにしています。



注意：この構成を使用している場合は、次のことを確認する必要があります。

- すべての PowerChute Serial Shutdown Agent のシャットダウン設定は同じです。
- 設定されているすべてのコマンドファイルは、実行に必要な時間と同じ時間を使用します。
- IE2 カードのディップスイッチは次のように設定します。
 - タイプ A** UPS デバイスの場合は 0001
 - タイプ B** UPS デバイスの場合は 0000

シンプルシグナリングでシャットダウン設定を構成する際の詳細については、[PowerChute Serial Shutdown ユーザーガイド](#) を参照してください。

Interface Expander 2 ディップスイッチによるシャットダウン設定

この構成では、IE2 カードの DIP スイッチは、接続されているサーバーをシャットダウンするタイミングを構成し、IE2 カードをタイマーモードにするために使用されます。PowerChute Serial Shutdown Agent は接続されている全てのサーバーにインストールされており、シャットダウン設定は「デフォルト 構成である UPS がバッテリー低下イベントを通知した場合」に設されているため、PowerChute はバッテリー低下イベントが発生した場合にサーバーをシャットダウンします。

IE2 ディップスイッチは、シャットダウンモードを定義するために使用されます。

シャットダウン モード		スイッチ設定 (↓ =0 、 ↑ =1)			
		1	2	3	4
コンファーム		0	0	0	*
ローバッテリー		0	0	1	該当なし
タイマー	2 分	0	1	0	該当なし
	5 分	0	1	1	該当なし
	10 分	1	0	0	該当なし
	15 分	1	0	1	該当なし
	30 分	1	1	0	該当なし
	60 分	1	1	1	該当なし
UPS ポート 上 のサーバー	確認を待つ	0	0	0	0
	確認されたとして扱う	0	0	0	1

IE2 カードを設定するための詳細な情報に関しては、いずれも [APC ウェブサイト](#) にある [インターフェイス拡張 2 ユーザーズガイド](#)、およびサポート技術情報の記事 [FA246601](#) を参照してください。

シンプルシグナリングとタイプ A UPS デバイスでのインストールと設定

マスターサーバーのシャットダウン設定にあるオペレーティングシステムがシャットダウンする時間フィールドには、大きな遅延値を設定してください。ここで大きな値を設定すると、オペレーティングシステムのシャットダウンに時間がかかります。

シンプルシグナルのクライアントを含むすべてのサーバーを PowerChute コンセントグループに接続します。こうすることで、サーバーがマスターサーバーのコンセントシーケンス 画面に従ってシャットダウンする事を可能にします。

シンプルシグナリングおよび タイプ B UPS デバイスによるシャットダウン機能

Interface Expander 2 カードがシンプルクライアントにシャットダウンコマンドを発行すると、UPS の電源を切るコマンドも発行されます。正常なシャットダウンを確実にするために、この電源オフコマンドの遅延時間はオペレーティングシステムがシャットダウンされる時間設定、およびマスターサーバーのシャットダウン設定画面の ランタイム制限でと等しくなるよう強制的に設定されます。

マスターサーバーのランタイム制限時は UPS の遅延時間を決定するため、適切な値に設定してください。詳細については、[APC ウェブサイト](#) にある FAQ の [FAQ000260144](#) の記事をご覧ください。

PowerChute Serial Shutdown Agent インタフェースへのアクセス

エージェントに初めてアクセスすると、セキュリティ証明書を信頼できないことを示すエラーメッセージがブラウザに表示されます。

一部のブラウザでは、ボタンをクリックして証明書の信頼性を確認するメッセージボックスが表示されます。ボタンをクリックして、エラーメッセージが表示されないようにしてください。他のブラウザでは、<servername>を信頼できるサイトとして追加し、証明書を手動で追加する必要があります。

ブラウザに証明書をインストールする方法については、[APC ウェブサイト](#)のサポート技術情報項目 [FAQ000260226](#) を参照してください。

ローカルおよびリモートアクセス

PowerChute Serial Shutdown Agent のユーザインターフェイスには、ローカルとリモートの 2 つの方法でアクセスできます。

ローカルマシンの PowerChute Serial Shutdown Agent にアクセスするには、Windows のスタートボタンを選び **PowerChute Serial Shutdown > PowerChute Serial Shutdown** を選びます。

PowerChute Serial Shutdown Agent にリモートアクセスするには、Web ブラウザにservername と port を入力します。

`https://servername:6547`

例えば、サーバー名が COMP1 の場合：
`https://COMP1:6547`

トラブルシューティング

ここでは、PowerChute Serial Shutdown のインストール時に発生する可能性のある問題について説明します。

以下のセクションを参照してください：

- [PowerChute Serial Shutdown のインストール中に発生するメッセージ](#)
- [Linux のインストールに関する問題](#)
- [サイレントインストールのエラーコード](#)
- [Windows でアンインストール時に発生する可能性のある問題](#)
- [通信のヘルプ、UPS の自動検出および手動検出のトラブルシューティング](#)
- [Windows での UPS 通信の確認](#)
- [Windows で USB ケーブル接続なしでのインストール](#)
- [予期しないシャットダウンと通信の喪失](#)
- [スタンバイモードでエージェントが一時的に使用できない](#)
- [スタンバイは Windows でのスケジュールされたシャットダウンを延期](#)
- [オペレーティングシステムの日付と時刻を変更する際の問題](#)
- [インストールまたはアップグレード後の UPS の変更](#)
- [スケジュールされたシャットダウンの後に UPS の電源がオンにならない](#)

PowerChute Serial Shutdown のインストール中に発生するメッセージ

PowerChute Serial Shutdown Agent のインストール中に以下のメッセージが表示されることがあります。

注意:

問題が解決しない場合は、APCワールドワイドカスタマーサポート(<https://www.apc.com/jp/ja/support/>)を参照してください。

メッセージ	説明
不明なプログラムがあなたのコンピュータへアクセスしようとしています。	このメッセージは Windows のセキュリティ機能であり、ユーザーアカウント制御 (UAC) が有効な場合に発生します。インストールを続行するには、[許可] をクリックしてください。
サービスの開始に失敗しました。インストールを中止しています。	セットアップで PowerChute サービスをインストールできませんでした。既にインストールされている PowerChute ファイルが無いこと、およびコンピューターで使用している OS がサポートされていることを確認してください。インストールを再試行する前に、PC を再起動してください。
ユーザー名に含められるのは US ASCII 文字のみです。	ユーザー名に含めることができるのは US-ASCII 文字のみであり、空白文字は使用できません。 ユーザー名とパスワード要件 を参照してください。
パスワードには、US-ASCII 文字のみを含める必要があります。	パスワードに含めることができるのは US-ASCII 文字のみであり、空白文字は使用できません。 ユーザー名とパスワード要件 を参照してください。

メッセージ	説明
パスワードには以下が必要です： ・最小 8 文字から最大 128 文字まで ・1つの大文字と小文字 ・1つの数字または特殊文字	指定されたパスワードがパスワード要件を満たしていることを確認してください。 ユーザー名とパスワード要件 を参照してください。
ユーザー名の長さは 6~128 文字でなければなりません。	ユーザー名は 6 文字以上 128 文字以下でなければなりません。 ユーザー名とパスワード要件 を参照してください。
PowerChute Serial Shutdown をインストールして実行するには管理者権限が必要です。いったんログオフしてから、管理者権限を持つアカウントを使ってセットアッププログラムを再実行してください。	PowerChute をインストールする前に、コンピューターへの管理者権限が必要です。
パスワードが一致しません。	パスワードフィールドおよび 確認フィールドに入力したパスワードは、同一である必要があります。
Windows を続行するにはあなたの許可が必要です	このメッセージは、Windows のセキュリティ機能です。続行をクリックしてください。

サイレントインストールのエラーコード

サイレントインストールに失敗した場合、次のエラーコードが PCSSInstall.log ファイルに書き込まれます。

エラーコード	エラーメッセージ	説明
3	インストーラーはすでに起動しています	インストーラーの別のインスタンスが既に実行されています。
4	32 ビットOSへのインストールはサポートされていません	PowerChute Serial Shutdown は、64 ビット OS にインストールする必要があります。
5	PowerChute Network Shutdown のインストールが検出されました	PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、PowerChute Network Shutdown をアンインストールします。
6	PowerChute Serial Shutdown はすでにインストールされています	このバージョンの PowerChute Serial Shutdown は、ご使用のシステムにすでにインストールされています。
7	このバージョンの PowerChute Serial Shutdown は、日本語 OS をサポートしていません。	
8	このバージョンの PowerChute Business Edition からのアップグレードはサポートされていません。	PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、PowerChute Business Edition をアンインストールしてください。
9	PowerChute Business Edition 10.x からのサイレントアップグレードはサポートされていません	通常の PowerChute Serial Shutdown インストールを実行してください。インストーラーがアップグレード手順を案内します。または、PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、PowerChute Business Edition をアンインストールします。
10	Visual C++ Redistributable のサイレントインストールはサポートされていません。	通常の PowerChute Serial Shutdown インストールを実行してください。インストーラーが Visual C++ Redistributable インストールをガイドします。または、PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、 Latest Visual C++ Redistributable version をダウンロードしてインストールします。

エラーコード	エラーメッセージ	説明
11	PowerChute Personal Edition のサイレントアンインストールはサポートされていません。	通常の PowerChute Serial Shutdown インストールを実行してください。インストーラーが PowerChute Personal Edition v3.1 のアンインストールをガイドします。または、PowerChute Serial Shutdown をインストールする前に、PowerChute Personal Edition をアンインストールします。
12	iniファイルにアップグレードエントリがありません	サポートされているアップグレードパスは見つかりましたが、ini ファイルのアップグレードエントリがありません。
13	APCPBEGentサービスはすでに存在します	PowerChute Serial Shutdown Agent サービスのアンインストールが完了していません。再起動して、PowerChute Serial Shutdown のインストールを再度実行してください。
14	アップグレードが有効になっていません	サポートされているアップグレードパスは見つかりましたが、ini ファイルの'Upgrade'エントリが'yes'に指定されていません。
15	Agentサービスの停止に失敗しました	既存の PowerChute Serial Shutdown インストールの Agent サービスを停止できませんでした。Agent サービスが実行中の場合、アップグレードインストールを実行できません。
16	サポートされているアップグレードパスが見つかりません	インストール済みの PowerChute Serial Shutdown から新しいバージョンへのアップグレードはサポートされていません。
20	サイレント構成 ini ファイルのコマンドライン パラメータ "/F" がありません。	
21	サイレント構成 ini ファイルが存在しません。	
22	AcceptEULA エントリが ini ファイルにありません	
23	EULA は受付られません	
24	UPSModel エントリが ini ファイルにありません	
25	無効な UPSModel 値	
26	ShareUPSMODE エントリが ini ファイルにありません	
27	無効な ShareUPSMODE 値	
28	Interface Expander と Share-UPS は UPS モデルではサポートされていません	
29	UPSPort エントリが ini ファイルにありません	
30	UPSPort 値 のシリアルポート COM <n> がシステムに存在しません	
32	Interface Expander と Share-UPS にはシリアルポートが必要です	
34	ネイティブ OS UPS サポートの無効化に失敗しました	
35	ユーザー名エントリが ini ファイルにありません	
36	パスワードエントリが ini ファイルにありません	
37	ユーザー名の長さは 6~128 文字でなければなりません。	

エラーコード	エラーメッセージ	説明
38	ユーザー名に含めることができるのは US-ASCII 文字のみであり、スペースは使用できません。	
39	パスワードに含めることができるのは US-ASCII 文字のみであり、スペースは使用できません。	
40	ユーザー名をパスワードの一部とすることはできません。	
41	パスワードの長さは 8?128 文字でなければなりません。	
42	パスワードに小文字が含まれていません。	
43	パスワードに大文字が含まれていません。	
44	パスワードに数字または特殊文字が含まれていません	
45	AddToFirewall エントリが ini ファイルにありません	
46	AutoDetect エントリが ini ファイルにありません	
47	サポートされている UPS が検出されません	
50	ApplicationDirectory エントリが ini ファイルにありません	
51	インストールディレクトリを作成できませんでした	

Linux のインストールに関する問題

メッセージ	説明
Linux で rpm を使用してインストールする場合、キーに関する警告が受信されます。	このエラーメッセージを回避するには、 APC ウェブサイト のサポート技術情報で FAQ000260226 の項目を参照してください。また、このメッセージ
PowerChute Serial Shutdown エージェントのインストール中に USB ポートを使用して通信するオプションはありません。	Linuxカーネルには USB ケーブルが接続されていない場合にパニックが発生する既知の問題があります。PowerChuteのインストールでカーネルがこれを解決するのに必要なパッチを持っているかどうかわからない場合で、USBポートのオプションが表示されない場合は、カーネルにこの解決が成されているかどうかを OS 提供者に問い合わせてください。 USBオプションは、修正がカーネルに適用されているため、RHELv6.4以降およびSUSE11 SP2以降で利用できます。 このパッチのコミット番号は 1a8e8fab790ea7af81b8f964fdec706ad1ec2271 です。 http://git.kernel.org を参照してください。

Windows でアンインストール時に発生する可能性のある問題

Windows から PowerChute Serial Shutdown をアンインストールする時に、次の問題が発生する可能性があります。

- PowerChute Serial Shutdown のアンインストール後、いくつかのファイルやフォルダは手動削除が必要な場合があります。インストールフォルダが存在する場合は、その内容を含めて削除します（既定のフォルダ \Program Files\APC\PowerChute Serial Shutdown またはインストール時に指定したデフォルト以外のフォルダ）。PowerChute 製品として PowerChute Serial Shutdown のみがインストールされている場合は、APC フォルダも削除します。

通信のヘルプ、UPS の自動検出および手動検出のトラブルシューティング

PowerChute Serial Shutdown が UPS を自動的に検出しない場合、または UPS の手動検出に問題がある場合は、次のトラブルシューティングチェックリストを使用してください。

注意：

セットアップでは、シンプルシグナリングケーブルで接続されたデバイスを自動的に検出できません。したがって、セットアップ中に、UPS が Interface Expander 2 カードの基本ポートを介して接続されている場合は、手動検出を使用してポートと UPS のタイプを指定します。詳細については、「[シンプルシグナリング](#)」を参照してください。

重要：

- PowerChute Serial Shutdown と互換性のある UPS モデルを使用していることを確認してください。サポートされる UPS 製品形式の詳細に関しては、[APC ウェブサイト](#)のサポート技術情報で [FA53387](#) の項目を参照してください。
- ターミナルエミュレータなどの別のサービスが、UPS が接続されている COM ポートを使用している場合は、そのサービスを停止するか UPS を別の COM ポートに接続します。自動検出の場合は、**実行検出**を使用してセットアッププログラムが UPS を再度検索するようにします。手動で UPS を検出するには、新しい COM ポートを指定します。
- PowerChute Serial Shutdown サービスが実行されているか確認します。
- UPS の背面をチェックして、正しいケーブルを使用していること、また確実に接続されていることを確認してください。詳細については、「[UPS 通信ケーブルの要件](#)」を参照してください。変更を行った後、PowerChute Serial Shutdown サービスを停止して再開します。
- PowerChute をインストールするサーバーには、UPS を接続する通信ケーブルが 1 つだけであることを確認してください。USB ケーブルとシリアル通信ケーブルを同時に使用して UPS をサーバに接続すると、間違った通信タイプがインストールされ、インストールが正常に行われないことがあります。
- シリアルから USB または USB からシリアルのアダプターを使用している場合は、アダプターに正しいドライバーがインストールされていることを確認してください。**注**：PowerChute は、シリアルから USB または USB からシリアルのアダプターでの使用についてはテストされていません。
- USB ケーブルを使用している場合：
 - 通信ポートが USB に設定されているか確認します。（シリアルから USB 接続に変更するには、PowerChute Serial Shutdown Agent を再インストールする必要があります。）
 - Windows のコントロールパネルで、**管理ツール > コンピューター管理 > HID** を選択し、USB 装置を確認してください。HID、または HID 下に American Power Conversion USB UPS ドライバーが表示されない場合は、お使いのコンピューターで USB ポートが有効となっているかを確認してください。代わりに USB ハブを使用している場合（推奨されません）、ハブに電力が供給されていることを確認し、ハブのマニュアルを参照してアダプタが必要かどうかを確認し、UPS への USB ケーブルがチェーンの最後のケーブル UPS から上流のすべての USB デバイスが通信していることを確認してください。
- 次のいずれかがインストールまたは接続されている場合は、その設定を確認してください。
 - Network Management Card は、設定がすべて完了して動作可能である必要があります。
 - PowerChute Serial Shutdown で Interface Expander 2 カードをモニターしている場合は、（[シンプルシグナリングケーブル](#)の一覧中の）正しいケーブルが使用されている事を確認し、

カードまたは機器のインストール時に「 Simple signaling Accessory 」を指定した事を確認してください。指定したアクセサリのタイプが不明な場合は、カードまたはデバイスを正しい設定で再取付してください。

- USB / シリアル接続の問題を確認するには、別のポートとケーブルを使用するか、ターミナルエミュレータを使用して接続を確認してください。詳細については、「 [Windows での UPS 通信の確認](#) 」を参照してください。

注意 :

このセクションのトラブルシューティング方法で問題が解決しない場合は、APC ワールドワイドカスタマーサポート (<https://www.apc.com/jp/ja/support/>) に連絡してください。

Windows での UPS 通信の確認

スマートシグナリング UPS と Windows オペレーティングシステムをサポートするコンピュータとの接続を確認するには、ターミナルエミュレーター プログラムを使用してください。

注意 : 現在、タイプ A デバイスの通信を確認する方法はありません。

次の手順では、PuTTY ターミナルエミュレータを使用して、シリアル通信を確認する方法について説明します。

1. 通信ポートを他のサービスが使用していないことを確認します。
2. [PuTTY](#) を開く
3. PuTTY の設定画面で、次を入力します：
 - a. **接続の種類** : シリアル
 - b. **シリアルライン** : UPS が接続されている通信ポートを指定します。
 - c. **速度** : 2400 ビット / 秒
 - d. [開く] をクリックします。
4. 空白の端末画面が表示されたら、大文字の Y を入力します。
 - 画面に [SM] (Smart Mode) という文字が表示されたら、シリアル通信のリンクに問題はありません。
 - SM が表示されない場合は、大文字の A を入力します。画面に [OK] と表示された場合は、UPS は信号を受信できますが、送信はできません。考えられる問題の原因は、次のとおりです。
 - シリアルケーブルに問題がある可能性があります。シリアルケーブルを交換してください。
 - コンピュータのシリアルポートは、割り込みの競合やポートの誤動作のために信号を受信できない場合があります。他のコンピュータの使用を試してください。
 - UPS にはハードウェアに問題がある可能性があります。他の UPS を試してください。

注意 : 通信に関する問題解決の詳細に関しては、APC ウェブサイトのサポート技術情報で [FAQ000260072](#) の項目を参照してください。問題が解決しない場合は、APC ワールドワイドカスタマーサポートを参照してください。

Windows で USB ケーブル接続なしでのインストール

Windows では、型番 SMX と SMT の Smart-UPS デバイスと、UPS に USB 通信ケーブルを接続せずに PowerChute Serial Shutdown Agent をインス

トールすると、その後、通信を確立することができなくなります。

コンピュータと UPS を USB 通信ケーブルで正しく接続してから、PowerChute Serial Shutdown Agent を再インストールしてください。

予期しないシャットダウンと通信の喪失

UPS と PowerChute Serial Shutdown を実行しているサーバー間の通信が失われた場合、UPS がサーバー上で動作している PowerChute Serial Shutdown Agent と通信できないため、停電時に予期しないシャットダウンが発生することがあります。

スタンバイモードでエージェントが一時的に使用できない

コンピュータがスタンバイモードになると、PowerChute Serial Shutdown Agent の Windows サービスは動作しなくなります。

Windowsがスタンバイ中にスケジュールシャットダウンが設定されている場合の動作

シャットダウンがスケジュールされている時間に、Windowsコンピュータがスタンバイになっている場合、スタンバイモードが終了した後にシャットダウンが開始されます。これは、シャットダウンが（シャットダウンスケジュール コマンドによって）スケジュールされた時間が経過した後でも適用されます。

たとえば、シャットダウンが午後7時から午前7時に設定されていて、ご使用のコンピュータが午後7時にスタンバイモードになると、その時間にシャットダウンは実行されません。しかし、コンピュータが通常の動作を午後9時に再開すると、スタンバイモードが終了した時点でシャットダウンが開始します。定期シャットダウンを午後7時に開始するという通知が表示され、数分後にコンピュータがシャットダウンされます。コンピュータの電源は12時間後に再度オンになります

オペレーティングシステムの日付と時刻を変更する際の問題

特定の PowerChute 機能は、オペレーティングシステムの時間設定を使用します。スケジュールされたシャットダウン、イベントログ、データログなどのコンポーネントは、時間設定が正しく機能している事に依存しています。PowerChute のインストール後に時刻や日付を変更することはできません。

インストールまたはアップグレード後の UPS の変更

PowerChute v1.3 のインストール後または以前のバージョンからの PowerChute v1.3 へのアップグレード後に、使用される UPS の変更はサポートされていません。アップグレードインストール中に UPS を選択するよう求められない場合は、元のインストール時に特定された UPS が使用されます。元のインストール時に PowerChute で設定されたものとは異なる UPS を使用するには、PowerChute をアンインストールしてから、再インストールして新しい UPS で設定する必要があります。

スケジュールシャットダウンの後に UPS の電源がオンにならない

SMX750とSMX1000のUPSデバイス では、スケジュールされたシャットダウンの後に UPS の電源がオンにならない場合があります。

デバイスの電源をオンにするには、次の手順を実行してください。

1. LCD を使用して UPS の電源を切ります。
2. UPS プラグをソケットから取り外します。
3. UPS バッテリーを取り外します。

その後、前述の手順を逆に実行してデバイスを通常どおり使用してください。

1. UPS バッテリーを再接続します。
2. UPS プラグをソケットに挿入します。

LCD を使用して UPS の電源をオンにします。

Schneider Electric 社の APC ワールドワイド カスタマーサポート

本製品および他の製品に関するカスタマーサポートは、以下の方法で無償で提供されています。

- Schneider Electric Web サイトの APC にアクセスして、APC サポート技術情報の文書にアクセスし、カスタマーサポートリクエストを提出してください。
 - www.apc.com (本社)
Schneider Electric の Web サイトでお住まいの国の APC に接続してください – 各国 APC はカスタマーサポート情報を提供しています。
 - www.apc.com/support/
グローバルサポートの APC サポート技術情報検索ベース、および電子サポート
- Schneider Electric のカスタマーサポートセンターから、電話または E メールで APC にお問い合わせください。
 - ローカル、各国専用センター：問い合わせ先情報については www.apc.com/support/contact へアクセスしてください。

お住まいの地域のカスタマーサポートについては、APC by Schneider Electric 製品を購入された APC by Schneider Electric 営業担当または販売店にお問い合わせください。

規格、仕様、設計が時々刻々と変化するため、本書に記載されている情報の確認をお願いします。

© 2024 Schneider Electric. All Rights Reserved. Schneider Electric、APC、およびPowerChute は、Schneider Electric SE、その子会社および関連会社の商標および財産です。他のすべての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。